

コミュニティ・スクールだより



氷川町（組合）
コミュニティ・スクール
連携協議会事務局
令和元年5月15日
発行 第1号

氷川町(組合)は、5校すべてにコミュニティ・スクールを設置し「地域とともにある学校づくり」を推進しています



～本町教育の理念～

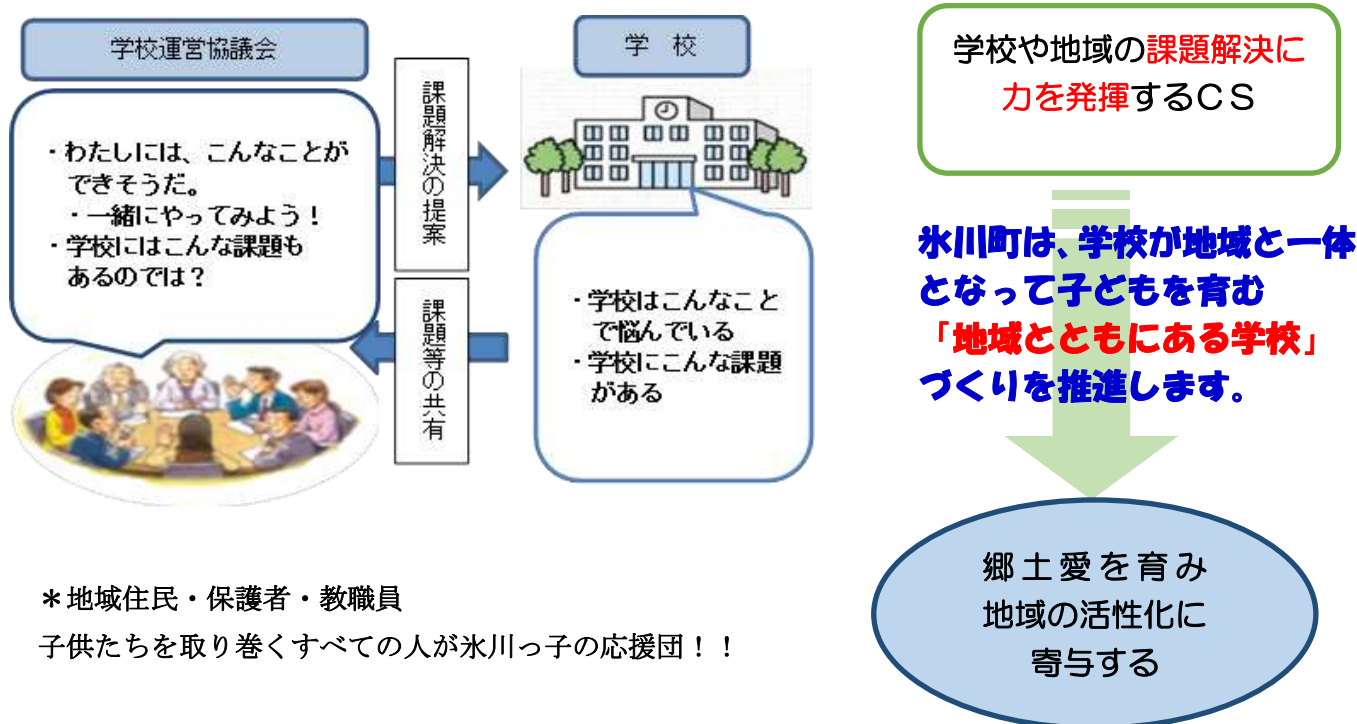
町が子どもを見守り、鍛える町づくり

目指す子ども像

ふるさとの大地に輝く氷川っ子

- ①学ぶ意欲にあふれる**氷川っ子**（学力向上）
- ②自分や他者を大切にする**氷川っ子**（命）
- ③ふるさを大切にする明るく元気な**氷川っ子**（郷土愛）

コミュニティ・スクール(CS)とは、学校運営協議会を設置した学校のことを言います。地域住民や保護者、教職員が委員となり、学校や地域の「願い」を実現するために話し合います。そして、課題解決にむけて委員自らできることに取り組んだり、地域学校協働活動推進員に支援の依頼を行ったりします。学校と学校応援団・地域をつなぎます。



* 地域住民・保護者・教職員
子供たちを取り巻くすべての人が氷川っ子の応援団！！

氷川町小中5校合同学校運営協議会開催！

5月7日(火)に氷川町文化センターにおいて、令和元年度氷川町(組合)5校合同の学校運営協議会が開催されました。この日は、5校でそれぞれ推薦された学校運営協議会委員が、一同に集い研修を行いました。太田教育長、伊藤連携協議会長の挨拶では、CS委員さんの共通理解のもと、地域とともにある学校づくりを目指して、一人一人がそれぞれの強みを活かしながらチームとして取り組み、氷川町の未来を担う人材づくりに取り組んでいきたいと思いますと話がありました。

その後、地域学校協働活動推進員の古閑さんにアイスブレイクをして頂き、各学校に分かれグループ協議を行いました。各学校で、目指す子ども像「氷川っ子」を思い思いに出し合い、そのような子ども達を育てるには、CSとして自分にはどんなことができるだろうかとそれぞれの立場で意見を出し合いました。どの学校も、和気あいあいと意見交換が進み、さまざまな立場からの子ども達への思いが伝わってきました。

これをスタートに各学校で5回、小中学校区拡大で3回の会議を通して、それぞれで熟議され、いろいろな活動へと繋げていって頂きます。是非、保護者の皆様、地域の皆様も各学校のCS委員さん方の取組にご協力いただき、仲間の輪が広がっていきますようよろしくお願いいたします。今年度もCSを通して「親・子・地域の輪」をさらに広げていきましょう。



竜北西部小学校



竜北東小学校



宮原小学校



竜北中学校

一人一人の強みを活かしたCS活動！それぞれの立場で自分なりにできること



氷川中学校

氷川町コミュニティ・スクール連携協議会実施

合同会議後の連携協議会(5校CS代表者会)では、小中連携を見据え、全ての氷川っ子の「15歳の春を輝かしいものにするために！」と意見交換が行われました。校長先生は各学校の課題にも触れられ、氷川町すべての子ども達を「学校・家庭・地域」が連携、協働し、町全体で見守り、育てていきたいという思いを熱く語られました。今年度もCS委員さん方と共に地域の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。事務局として、なるべくたくさんの方のCSの活動、取組をご紹介しますりお誘いしたりしたいと思っております。まずは、自分にできることから始めてみませんか。